



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

# 2018年 3月期 決算報告

2018年5月10日

## 2018年3月期 連結損益計算書

(億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
売上高	5,879	5,961	+82
営業利益	187	193	+6
営業外損益	+15	+16	+1
経常利益	202	209	+7
特別損益	▲24	▲19	+4
税引前利益	178	190	+12
純利益※	129	133	+3

※親会社株主に帰属する当期純利益

### 増減要因

#### 【営業外損益】

➢ 金融収支※：+2億円、持分法投資損益：+2億円

#### 【特別損益】

➢ 減損損失：+5億円

※金融収支 = 受取利息 + 受取配当金 - 支払利息

配当

普通配当

40円

連結配当性向

20.3%

2018年3月期 | 連結営業利益増減要因の内訳

2017年3月期	2018年3月	増減額	主なセグメント別の増減額		
187億円	193億円	+6億円	乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗
			+4億円	+1億円	+0億円
<b>増益要因 合計</b>		<b>+43</b>	<b>+35</b>	<b>+2</b>	<b>+5</b>
販売物量増加による利益増		20	+18	▲1	+1
コストダウン		10	+10	+0	+0
販売単価差		8	+6	▲1	+4
製品構成差		5	+1	+4	+0
<b>減益要因 合計</b>		<b>▲37</b>	<b>▲31</b>	<b>▲1</b>	<b>▲5</b>
原材料コストの増加		▲13	▲12	▲1	+0
オペレーションコストの増加		▲13	▲6	▲7	+0
宣伝促進費の増加		▲8	▲17	+9	+0

(補足) 主要要因を記載しています。内訳の詳細は、決算短信の補足情報をご参照ください。

2018年3月期 | 連結貸借対照表

(億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額		2017年3月期	2018年3月期	増減額
流動資産	1,386	1,465	+78	流動負債	1,210	1,406	+196
固定資産	2,028	2,063	+35	固定負債	749	548	▲200
<b>総資産 3,529億円 (前期比 +113億円)</b>				純資産	1,454	1,573	+118

増減要因

【流動資産】

- ▶ たな卸資産： +54億円
- ▶ 売上債権： +42億円

【固定資産】

- ▶ 投資有価証券： +33億円

【流動負債】

- ▶ 短期借入金： +124億円
- ▶ 仕入債務： +46億円

【固定負債】

- ▶ 長期借入金： ▲202億円

【純資産】

- ▶ 株主資本： +107億円

自己資本比率

43.9%

2018年3月期 | 連結キャッシュ・フロー計算書

	主な内訳	(前期)
営業CF +228億円	税金等調整前当期純利益 190億円 減価償却費 151億円 たな卸資産の増加額 ▲54億円	+299億円
投資CF ▲117億円	有形及び無形固定資産の取得による支出 ▲122億円	▲144億円
財務CF ▲129億円	借入および返済 ▲77億円 配当金の支払額 ▲27億円 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 ▲14億円	▲143億円
現預金増減額 ▲18億円	有利子負債 750億円	

2019年3月期 | 連結損益計算書

	2018年3月期	業績予想 2019年3月期	増減額
売上高	5,961	6,050	+88
営業利益	193	190	▲3
経常利益	209	200	▲9
親会社株主に帰属する当期純利益	133	135	+1

配当	普通配当	40円	連結配当性向	20.1%
----	------	-----	--------	-------

2019年3月期 | 連結営業利益増減要因の内訳（業績予想）

2018年3月期	2019年3月	増減額
193億円	190億円	▲3億円

増減要因	合計	増減額
<b>増益要因</b>	<b>合計</b>	<b>+83</b>
販売単価差		+36
製品構成差		+31
販売物量増加による利益増		+13
コストダウン		+3
<b>減益要因</b>	<b>合計</b>	<b>▲86</b>
固定経費の増加（減価償却費を含む）		▲26
原材料コストの増加		▲23
宣伝促進費の増加		▲18
オペレーションコストの増加		▲11

主なセグメント別の増減額		
乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗
▲2億円	+1億円	▲3億円
45	37	▲1
+35	+0	+0
+7	+24	+0
+2	+11	▲1
+1	+2	+0
▲47	▲36	▲2
▲8	▲16	▲1
▲18	▲5	+0
▲13	▲5	+0
▲4	▲7	+0

2018年度計画前提為替レート 1米ドル=113円  
為替感応度（営業利益ベース）1円高 +1.5億円

（補足）主な要因を記載しています。内訳の詳細は、決算短信の補足情報をご参照ください。

2019年3月期 | 連結キャッシュ・フロー計算書（見通し）

基本政策

企業価値の向上を実現するため  
①財務の健全性、②資本効率、③株主還元  
の3つを意識し、それぞれの最適バランスを検討し  
取組むものとします。

◆中期経営計画方針

事業投資

- キャッシュフローの創出
- 高付加価値カテゴリへの戦略投資

財務規律

- 財務健全性の確立（自己資本比率40%以上）
- 内部留保による投資余力の創出

株主還元

- 安定的配当の維持
- 配当性向20%以上

営業CF +271億円

投資CF ▲230億円

財務CF ▲46億円

有利子負債

730億円

## 連結経営指標

	連結業績 2017年度	連結業績予想 2018年度	前期比較	中期経営計画 2019年度	長期ビジョン 2026年度
売上高	5,961億円	6,050億円	+88億円	6,300億円	7,000-8,000億円
営業利益	193億円	190億円	▲3億円	220億円	300-400億円
営業利益率	3.2%	3.1%	▲0.1%	3.5%	4.3-5.0%
EBITDA	345億円	349億円	+3億円	400億円	-
				<b>水準（目処）</b>	
ROE	9.0%	-	-	8%以上	8%以上
自己資本比率	43.9%	-	-	40%以上	50%以上
配当性向	20.3%	20.1%	▲0.2%	20%以上	30%以上

未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。